

## エリトリア：越境で 8 年拘束の女性の釈放を



©Amnesty International

れたままで、家族が連絡を取ることもできません。

出国が厳しく制限されるエリトリアでは、無許可の越境は犯罪とみなされ、通常は半年間の勾留ですが、チハムさんの 8 年は異常です。全市民が一定期間の過酷な兵役を義務付けられているため、秘密裏の出国は、特に若者の間でしばしば行われてきました。

チハムさんの父親は当時、情報大臣の要職に就いていましたが、職を辞して 12 年 12 月に出国します。その翌月の 13 年 1 月、軍の兵士が、情報省の建物内に押し入り、クーデターを宣言し、政府に 2 つの要求を突きつけました。秘密裏の出国未遂で拘束されている人たちの釈放と政治犯の釈放です。チハムさんの父親が、クーデターを企てた兵士を支援した疑いをかけられ、その報復で娘のチハムさんの拘束が続いているのではないかと見られてきました。

残された家族が、チハムさんの行方を関係当局に何度照会しても、「大統領しかわからない」を繰り返され、米国国務省に支援を求めても回答は得られないままです。あらためてチハムさんの釈放を求める呼びかけをします。

### ■支援してください

ツイッターでエリトリアにチハムさんの即時釈放を、同国に影響力を持つ米国には釈放に向けた支援を、それぞれ求めてください。

●エリトリア大使館@EritreaEmbJP: "Immediately and unconditionally release Ciham Ali, a US citizen"

●米国国務副長官@AsstSecStateAF: "Call on the Eritrean government to immediately and unconditionally release Ciham Ali, a US citizen."

## ナイジェリア：市民の抗議に激化する弾圧



Demonstrators protest police brutality at the Lekki toll gate on October 20, 2020 in Lagos, Nigeria (ADAM ID 273263) (c) Adetola Omojokun/Getty Images

ナイジェリアでは 10 月初旬から、抗議デモへの警察や特殊部隊 (SARS) の暴力が激しくなり、市民の抗議が全土に広がる事態になっています。

10 月 8 日から、主要都市の大通りに市民が繰り出し、警察や治安部隊の武力行使を非難する声を上げはじめました。SARS と呼ばれる部隊は、暴力犯罪の取締りを専門とする警察の特殊部隊でしたが、この部隊が、一人の若者を狙い撃ちする様子を撮った動画がソーシャルメディアに流れ、市民の怒りは一層大きくなりました。さらに、ソーシャルメディアで「#EndSARS」の投稿が拡散し、抗議が広がりました。市民の激しい抗議を受けて 10 月 11 日、SARS の解体が発表されました。

しかし、治安当局は、武力と暴力の対応を変えず、10 月 20 日には、デモ隊が特殊部隊の発砲を受け、少なくとも 12 人が犠牲になりました。その後も治安当局は、放水砲、催涙銃、銃などを市民に向け、多数の怪我人を出し続けています。

政府は、治安当局に平和的デモ参加者への暴力を直ちにやめさせ、市民を死傷させた警官らの処分と警察の組織改革を行うべきです。

### ■支援してください。

当局に非暴力の市民デモに過剰な力を使わないことと警察組織の改革を求めてください。[こちらのウェブサイト](#)にあるレター文を利用して、メールでできるだけ早く送ってください。ぜひ、皆様のご支援をお願いします。

## アルゼンチン：中絶合法化まであと一歩

アルゼンチンのフェルナンデス大統領は11月17日、約束していた妊娠中絶を認める妊娠中絶法案を議会に提出しました。この法案は、11月から始まった下院での審議を経て上院に回され、来年2月末までの会期の臨時国会での採決される予定です。

アルゼンチンの女性たちが、長年取り組んできた女性の権利を促進する運動が、大統領を動かし、中絶合法化法案が議会で審議されるまでになりました。後は、議会の良識を待つばかりです。

両院での法案可決に向けて、アムネスティはこれからも全力で働きかけを続けます。要請文を送付して下さったみなさまに深く感謝いたします。

## ヨルダン：SNS 投稿で罪に問われた少年に無罪

ヨルダンでフェイスブックに投稿して「宗教の侮辱」の罪に問われていたツジャン・アル・ブハイチさん（17歳）が、7月28日に無罪判決を受けていたことがわかりました。

イエメン難民のツジャンさんは、フェイスブックに宗教と文化についての意見を投稿した昨年12月、サイバー犯罪担当当局の取り調べを受け、侮辱罪に問われました。幸い、法廷では裁判官から「初犯で情状酌量の余地がある」として、無罪を言い渡されました。

ツジャンさんは、「手紙やSNSで支援してくれたすべての人たちへ」として、次のメッセージを送ってくれました。「無罪でしたが、裁判官は、投稿内容は宗教を侮辱しているという見方を変えていません。検察が控訴する可能性もあります。僕が通う学校からも『有害な意見を広めた』と非難され、家族は嫌がらせを受けていました。それだけに、アムネスティの支援で自分や家族は、勇気づけられました。ありがとうございました」。

アムネスティは、引き続きブハイチさんの裁判を見守っていきます。

## ロシア連邦：小児科医の活動家に社会奉仕命令



©Amnesty International

「好ましくない組織」にかかわった罪に問われていた小児科医で人権擁護活動家のヤナ・アントノヴァさんが10月2日、240時間の社会奉仕活動を命じられました。収監は免れたとはいえ、有罪には変わりないため、ヤナさんは控訴する

つもりです。

市民一人ひとりの人権の推進に強い関心を持っていたヤナさんは、地元の学校不足を訴える動画を流して教育環境の改善を求めたり、人権団体「オープン・ロシア」の会員としてさまざまな活動に参加したりしていました。人権や法の支配、国の説明責任の促進などに関心を持つ人びとが、共に活動する機会を作ることに取り組んできました。

一方、オープン・ロシアは昨年3月、「好ましくない組織」とみなされたため、活動停止を余儀なくされました。同時期に、ヤナさんは当局の取調べを受け、2カ月後、「好ましくない組織」にかかわった容疑で起訴されました。刑事罰に問われたことで、小児科医としての職を失い、家族は、治安当局や周囲から嫌がらせを受けました。

裁判はまだ続きますが、アムネスティのアクションは一旦、終わります。UAなどに参加して下さったみなさまに感謝いたします。

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp  
UA 年会費: 3000 円  
郵便振替: 00120-9-133251  
加入者名: 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本